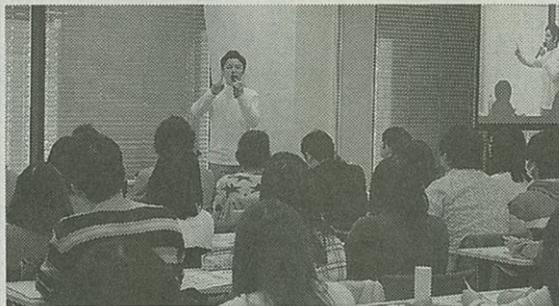


# カリスマ保育士「てい先生」招く

## 長屋心が講演会 保育士ら200人が聴講

女性の就業支援事業などを手掛ける長屋心（本社名古屋市中区錦、三輪高之社長、電話052・684・7201）は3日、名古屋市中村区名駅の大名古屋ビルディング8階で、「カリスマ保育士 てい先生講演会」を開催した。保育士ら約200人が集まった。

「てい先生」は、関東の保育園に勤務する男性保育士。保育園の日常をつぶやくツイッターでは、40万人以上のフォロワーを抱える。今回、長屋心が、来年4月に大府市に保育園を開



園するのを機に、講演会を企画した。

「てい先生」は、「21世

紀の新しい保育と保育士の待遇改善について」をテーマに講演。「インターネットの普及で、情報が簡単に入手できるようになった。イヤイヤ期の抜け方やトイレトレーニングの方法など、保育士に聞かなくても誰でも知ることができる」とし、「つまり、保育士の専門性（知識）に誰でも触れられる時代になった。では、保育士の専門性は何か。個別の対応だと思おう」と持論を述べた。

講演する「てい先生」

個別の対応について、「ネット情報は、さまざまな子供に当てはまる。しかし、重要なのは、目の前の子どもの性格、表情を見たらうえて、気持ちを汲み取り、その子どもに合った対応ができるかどうかだ」と語った。

保育の現場で保育士が個別の対応を行うために、「保育業界は、無駄な部分に時間と労力をかけすぎだ。壁面装飾や書き物など、保育士の業務のムダを省き、効率化することで、その時間を、本来行うべき業務

に充ててほしい」と強調した。講演会后、質疑応答の時間も設けられ、参加者と、活発な意見交換が行われた。